

注3

大学番号：私108

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

東京電機大学 工学部 先端機械工学科、応用化学科、電子システム工学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京電機大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	次長 <small>モリタ ヨシカス</small> 森田 嘉一 担当 <small>タカキダ ツバサ</small> 高木田 翼
電話番号	03-5284-5202
（夜間）	03-5284-5202
F A X	03-5284-5240
e-mail	tdupres@jim.dendai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<先端機械工学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. AC対象学部等を含む大学等の状況
5. 教員組織の状況（省略）
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

<応用化学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. AC対象学部等を含む大学等の状況
5. 教員組織の状況（省略）
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

<電子システム工学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. AC対象学部等を含む大学等の状況
5. 教員組織の状況（省略）
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 大学の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスタ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
工学部長	(サトウ タイチ) 佐藤 太一 (平成28年4月)		
先端機械工学科長	(フジタ トシノリ) 藤田 壽憲 (平成29年4月)	(イトウ ヒロシ) 伊藤 裕 (平成30年4月)	任期満了により学科長交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 先端機械工学科 学士(工学)	工学関係	4年	100人	- 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	100 (-) [-]	(-) [-]	100 (-) [-]	(-) [-]	1.14倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	1,188 (-) [9]	(-) [-]	905 (-) [9]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	1,162 (-) [8]	(-) [-]	884 (-) [8]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	324 (-) [4]	(-) [-]	272 (-) [4]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	114 (-) [3]	(-) [-]	114 (-) [4]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A					1.14		1.14			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	114 [3] (4)	— [—] (—)	118 [4]	— [—]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	109 [3] (0)	— [—] (—)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	114 [3] (4)	—	227 [7] (0)	—	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	114 人	1 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	227 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	— 人	1 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{114} = \boxed{0.87} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{227} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	技術者教養	技術者倫理	1-2-3-4 前・後	2								2
		失敗学	1-2-3-4 前・後	2								1
		情報化社会と知的財産権	1-2-3-4 前・後	2								1
		製造物責任法	1-2-3-4 前・後	2								1
		情報倫理	1-2-3-4 前・後	2								1
		情報とネットワークの経済社会	1-2-3-4 前・後	2								1
		情報化社会とコミュニケーション	1-2-3-4 前・後	2								1
		科学と技術の社会史	1-2-3-4 前・後	2								1
	グローバル教養	グローバル社会の市民論	1-2-3-4 前・後	2								1
		比較文化論	1-2-3-4 前・後	2								1
		地球環境論	1-2-3-4 前・後	2								1
		国際政治の基礎	1-2-3-4 前・後	2								1
		ヨーロッパ理解	1-2-3-4 前・後	2								2
		アメリカ理解	1-2-3-4 前・後	2								1
学部共通教育・工学基礎科目	シヨック	ワークショップ	1前	2		2			1		2	
		数学	微積分学および演習I	1前	4							21
	線形代数学I		1前	2							22	
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							6	
		基礎物理学B	1前・後	2							1	
		物理実験	1前・後	1							8	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2							1	
		化学・生物実験	1前・後	1							14	
	自然科学	自然科学概論A	1-2前・後	2							6	
		自然科学概論B	1-2前・後	2							6	
自然科学概論C		1-2前・後	2							1		
自然科学概論D		1-2前・後	2							2		
自然科学概論E		1-2前・後	2							7		
自然科学概論F		1-2前・後	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	技術者教養	技術者倫理	1-2-3-4 前・後	2								2
		失敗学	1-2-3-4 前・後	2								1
		情報化社会と知的財産権	1-2-3-4 前・後	2								1
		製造物責任法	1-2-3-4 前・後	2								1
		情報倫理	1-2-3-4 前・後	2								1
		情報とネットワークの経済社会	1-2-3-4 前・後	2								1
		情報化社会とコミュニケーション	1-2-3-4 前・後	2								1
		科学と技術の社会史	1-2-3-4 前・後	2								1
	グローバル教養	グローバル社会の市民論	1-2-3-4 前・後	2								1
		比較文化論	1-2-3-4 前・後	2								1
		地球環境論	1-2-3-4 前・後	2								1
		国際政治の基礎	1-2-3-4 前・後	2								1
		ヨーロッパ理解	1-2-3-4 前・後	2								2
		アメリカ理解	1-2-3-4 前・後	2								1
学部共通教育・工学基礎科目	シヨック	ワークショップ	1前	2				1		1	2	
		数学	微積分学および演習I	1前・後	4							19
	線形代数学I		1前・後	2							17	
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							6	
		基礎物理学B	1前・後	2							2	
		物理実験	1前・後	1							11	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2							16	
		化学・生物実験	1前・後	1							24	
	自然科学	自然科学概論A	1-2前・後	2							3	
		自然科学概論B	1-2前・後	2							4	
自然科学概論C		1-2前・後	2							2		
自然科学概論D		1-2前・後	2							4		
自然科学概論E		1-2前・後	2							7		
自然科学概論F		1-2前・後	2							14		
自然科学概論G		1-2前・後	2							7		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	力学	工業力学 I および演習	1前	3		1	1		1			
		工業力学 II および演習	1後	3		1	1		1			
		材料力学 I および演習	2前	3		2						
		材料力学 II	2後	2		2						
		機械力学 I および演習	3前	3		1						
		機械力学 II	3後	2		1						
		流体の力学および演習	2前	3		1						
	熱力学および演習	2後	3		1							
	材料加工	材料工学	2前	2		1						
		機械材料学	2後	2		1						
		加工学基礎	2前	2		1	1					2
	設計	機械のしくみ	1前	2		1						
		ワークショップ II	1後	2		8	1		1			1
		機構学	2前	2		1						
		機械設計学 I	3前	2			1					
		機械設計学 II	3後	2		1						
		品質管理	3後	2		1						
		計測・制御・光学	精密測定法 I	2後	2		1					
	精密測定法 II		3前	2		1						
	制御工学 I		3前	2		1						
	制御工学 II		3後	2		1						
応用光学	2後		2		1						1	
光学機器	3前		2		1						1	
情報	プログラミング I		2前	2		1						
	プログラミング II		2後	2		1						
	情報処理工学		2後	2		1						
電気・電子	メカトロニクス概論		1後	2		1						
	電気工学	2後	2		1							
	電子工学	3前	2		1							
	応用電子工学	3後	2		1							
	集積回路工学	4前	2								1	
	実験実習製図	機械工学実験実習 I	2前	2		2						
		機械工学実験実習 II	2後	2		2						
機械設計製図 I		2前	2		1			1			1	
機械設計製図 II		2後	2		1			1			1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	力学	工業力学 I および演習	1前	3		2	0		1		1	
		工業力学 II および演習	1後	3		1	1		1		1	
		材料力学 I および演習	2前	3		2				1		
		材料力学 II	2後	2		1						1
		機械力学 I および演習	3前	3		1						
		機械力学 II	3後	2		1						
		流体の力学および演習	2前	3		1						
	熱力学および演習	2後	3		1							
	材料加工	材料工学	2前	2		1						
		機械材料学	2後	2		1						
		加工学基礎	2前	2		3	0					0
	設計	機械のしくみ	1前	2		1				1		
		ワークショップ II	1後	2		9	1		0		2	
		機構学	2前	2		1						
		機械設計学 I	3前	2		1						
		機械設計学 II	3後	2		1						
		品質管理	3後	2		1						
		計測・制御・光学	精密測定法 I	2後	2		1					
	精密測定法 II		3前	2		1						
	制御工学 I		3前	2		1						
	制御工学 II		3後	2		1						
応用光学	2後		2		0						1	
光学機器	3前		2		0						1	
情報	プログラミング I	2前	2		1							
	プログラミング II	2後	2		1							
	情報処理工学	2後	2		1							
電気・電子	メカトロニクス概論	1後	2		1							
	電気工学	2後	2		1							
	電子工学	3前	2		1							
	応用電子工学	3後	2		1							
	集積回路工学	4前	2								1	
	実験実習製図	機械工学実験実習 I	2前	2		2						
		機械工学実験実習 II	2後	2		2						
機械設計製図 I		2前	2		1	1		0		1		
機械設計製図 II		2後	2		1	1		0		1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	機械発展	先端工学	先端機械工学入門	1前	1		10	1		1			
			先端精密機械加工Ⅰ	3前	2		1	1					
			先端精密機械加工Ⅱ	3後	2			1				1	
			先端自動車工学	3前	2		1						1
			先端医用工学	3前	2						1		
	先端実験実習製図	先端実験実習製図	先端機械実験実習Ⅰ	3前	2		2	1					
			先端機械実験実習Ⅱ	3後	2		2	1					
			先端機械設計製図Ⅰ	3前	2		1						
			先端機械設計製図Ⅱ	3後	2		1						
			先端機械設計製図Ⅲ	4前	2		1						
	その他	その他	プレゼンテーション	3後	2		8	1		1			
			先端機械総合演習	3後	2		1						
			インターンシップ	3・4通	2		1						
			卒業研究	4通	6		8	1		1			
	教職関連科目	教職関連科目	木材加工	2前		1							1
			栽培	2前		1							1
			職業指導	3前		2							1
			工業技術概論	3後		2							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	先端工学	先端工学	先端機械工学入門	1前	1		9	1		1			
			先端精密機械加工Ⅰ	3前	2		2	0					
			先端精密機械加工Ⅱ	3後	2		1	0					0
			先端自動車工学	3前	2		1						1
			先端医用工学	3前	2			1		0			
	先端実験実習製図	先端実験実習製図	先端機械実験実習Ⅰ	3前	2		3	0					
			先端機械実験実習Ⅱ	3後	2		3	0					
			先端機械設計製図Ⅰ	3前	2		1						
			先端機械設計製図Ⅱ	3後	2		1						
			先端機械設計製図Ⅲ	4前	2		0						1
	その他	その他	プレゼンテーション	3後	2		9	1		0			
			先端機械総合演習	3後	2		1						
			インターンシップ	3・4通	2		1						
			卒業研究	4通	6		9	1		0			
	教職関連科目	教職関連科目	木材加工(未開講)	2前		1							1
			栽培(未開講)	2前		1							1
			職業指導	3前		2							1
			工業技術概論	3後		2							2

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学部 共通 教育 ・ 人間 科学 科目	ジェネリックスキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1前・後	2								18
		文章表現法	1・2・3・4 後	2								2
		論理的思考法	1・2・3・4 前・後	2								2
		情報と職業	1・2・3・4 前・後	2								1
		東京電機大学で学ぶ	1前	1								1
		人間科学プロジェクト	2・3・4	2								1
		人間理解	歴史理解の基礎	1・2・3・4 前・後	2							1
			哲学と倫理の基礎	1・2・3・4 前・後	2							2
			認知心理学	1・2・3・4 前・後	2							1
			人間関係の心理	1・2・3・4 前・後	2							1
			自己心理学セミナー	1・2・3・4 前・後	2							4
			情報デザインと心理	1・2・3・4 前・後	2							1
			芸術	1・2・3・4 前・後	2							2
		社会理解	実用法律入門	1・2・3・4 前・後	2							1
			日本国憲法	1・2・3・4 前・後	2							1
			日本経済入門	1・2・3・4 前・後	2							1
			介護福祉論	1・2・3・4 前・後	2							1
			企業と社会	1・2・3・4 前・後	2							1
			大学と社会	1・2・3・4 後	2							1
			企業と経営	1・2・3・4 前・後	2							1
		スポーツ・健康	健康と生活	1・2・3・4 前・後	2							1
			身体運動のしくみ	1・2・3・4 前・後	2							1
			トリムスポーツⅠ	1・2・3・4 前	2							13
			トリムスポーツⅡ	1・2・3・4 後	2							13
		体力科学演習	1・2・3・4 前・後	2							1	
		アウトドアスポーツA	1・2・3・4 前	1							4	
		アウトドアスポーツB	1・2・3・4 前	1							4	
		アウトドアスポーツC	1・2・3・4 後	1							4	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門基礎科目	力学	工業力学Ⅰおよび演習	1前	3			2	0		1		1
		工業力学Ⅱおよび演習	1後		3		2	0		1		1
		材料力学Ⅰおよび演習	2前	3			2					
		材料力学Ⅱ	2後		2		2					
		機械力学Ⅰおよび演習	3前		3		1					
		機械力学Ⅱ	3後		2		1					
		流体の力学および演習	2前		3		1					
		熱力学および演習	2後		3		1					
	材料加工	材料工学	2前	2			1					
		機械材料学	2後		2		1					
		加工学基礎	2前	2			2	0				2
	設計	機械のしくみ	1前		2		1					
		ワークショップⅡ	1後		2		9	0		1		2
		機構学	2前		2		1					
機械設計学Ⅰ		3前	2			1	0					
機械設計学Ⅱ		3後		2		1						
品質管理		3後		2		1						
専門科目	計測・制御・光学	精密測定法Ⅰ	2後	2			1					
		精密測定法Ⅱ	3前		2		1					
		制御工学Ⅰ	3前	2			1					
		制御工学Ⅱ	3後		2		1					
		応用光学	2後		2		1					
		光学機器	3前		2		1					
	情報	プログラミングⅠ	2前		2		1					
		プログラミングⅡ	2後		2		1					
		情報処理工学	2後	2			1					
	電気・電子	メカトロニクス概論	1後		2		1					
		電気工学	2後		2		1					
		電子工学	3前		2		1					
		応用電子工学	3後		2		1					
		集積回路工学	4前		2							1
	実験実習製図	機械工学実験実習Ⅰ	2前	2			2					
		機械工学実験実習Ⅱ	2後	2			2					
		機械設計製図Ⅰ	2前	2			1			1		
		機械設計製図Ⅱ	2後	2			1			1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	機械発展	先端工学	先端機械工学入門	1前	1		11	0		1		
			先端精密機械加工Ⅰ	3前	2		2	0				
			先端精密機械加工Ⅱ	3後	2		1	0				1
			先端自動車工学	3前	2		1					1
			先端医用工学	3前	2						1	
	先端実験実習製図	先端機械実験実習Ⅰ	3前	2			3	0				
		先端機械実験実習Ⅱ	3後	2			3	0				
		先端機械設計製図Ⅰ	3前	2			1					
		先端機械設計製図Ⅱ	3後	2			1					
	その他	プレゼンテーション	3後	2			9	0		1		
		先端機械総合演習	3後	2			1					
		インターンシップ	3・4通	2			1					
		卒業研究	4通	6			9	0		1		
	教職関連科目	木材加工	2前		1						1	
		栽培	2前		1						1	
		職業指導	3前		2						1	
工業技術概論		3後		2						2		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者変更の理由により、「ワークショップ」の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更および担当者昇任の理由により、「工業力学Ⅰおよび演習」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当者変更および担当者昇任の理由により、「工業力学Ⅱおよび演習」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当者昇任の理由により、「加工学基礎」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者変更および担当者昇任の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「教授8」から「教授9」、「准教授1」から「准教授0」に変更および「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・担当者昇任の理由により、「機械設計学Ⅰ」の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端機械工学入門」の配置を「教授10」から「教授11」に変更、および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端精密機械加工Ⅰ」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端精密機械加工Ⅱ」の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端機械実験実習Ⅰ」の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端機械実験実習Ⅱ」の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「プレゼンテーション」の配置を「教授8」から「教授9」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「卒業研究」の配置を「教授8」から「教授9」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼担17」から「兼任・兼担18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「文章表現法」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅠ」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅡ」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツA」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツB」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツC」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学B」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担23」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼担14」から「兼任・兼担21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論A」の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論B」の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論C」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担12」から「兼任・兼担20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担12」から「兼任・兼担18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「日本事情B」の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担4」へ変更。

【平成30年度】

- ・担当者退職および担当者昇任の理由により、「工業力学Ⅱおよび演習」の配置を「教授2」から「教授1」へ変更および「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者追加の理由により、「材料力学Ⅰおよび演習」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「材料力学Ⅱ」の配置を「教授2」から「教授1」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「加工学基礎」の配置を「教授2」から「教授3」へ変更および「兼任・兼任2」から「兼任・兼任0」へ変更。
- ・担当者追加の理由により、「機械のしくみ」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の退職および再雇用の理由により、「応用光学」の配置を「教授1」から「教授0」へ変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・専任教員の退職および再雇用の理由により、「光学機器」の配置を「教授1」から「教授0」へ変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者昇任および担当者追加の理由により、「機械設計製図Ⅰ」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「助教1」から「助教0」へ変更ならびに「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者昇任および担当者追加の理由により、「機械設計製図Ⅱ」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「助教1」から「助教0」へ変更ならびに「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者都合および担当者昇任ならびに担当者の退任の理由により、「先端機械工学入門」の配置を「教授11」から「教授9」に変更および「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「先端精密機械加工Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端医用工学」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の退職および再雇用の理由により、「先端機械設計製図Ⅲ」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者昇任の理由により、「プレゼンテーション」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更および「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「卒業研究」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更および「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・教育の充実のため、「ドイツ語・ドイツ文化」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・教育の充実のため、「微積分学および演習Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の「兼任・兼任23」から「兼任・兼任16」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任24」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「自然科学概論G」（配当年次：1・2前・後、単位数：選択2単位）を新設し、「兼任・兼任7」を配置する。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅲ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅳ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「英語演習H」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	114 科目	4 科目	147 科目	29 科目 [0]	115 科目 [1]	4 科目 [0]	148 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	木材加工	1	2	専門	選択	履修者数が少ないことが見込まれるため。次年度以降開講予定、代替措置不要。
2	栽培	1	2	専門	選択	履修者数が少ないことが見込まれるため。次年度以降開講予定、代替措置不要。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「木材加工」および「栽培」については、教職関連科目の自由科目であり、平成30年度の履修者数はごく少数となることが見込まれたことから、開講せずの扱いとした。当該科目は次年度以降開講するため学生への影響はない。
学生への周知はポータルサイトで掲示を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{147} = \boxed{1.36}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東京電機大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部									
電気電子工学科	4	120	—	480	学士 (工学)	1.11	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
電子システム工学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.10	平成29年度		
環境化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成19年度		
応用化学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.10	平成29年度		
機械工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.11	平成19年度		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.14	平成29年度		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.14	平成19年度		
工学部第二部									
電気電子工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.17	平成20年度	東京都足立区 千住旭町5番	
機械工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.06	昭和37年度		
情報通信工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.19	昭和36年度		
理工学部									
理工学科	4	600	—	2,400	学士 (理学) 学士 (工学) 学士 (情報学)	1.11	平成19年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
情報環境学部									
情報環境学科	4	—	—	—	学士 (情報環境学)	—	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
未来科学部									
建築学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.13	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番	
情報メディア学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.09	平成19年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200	
ロボット・メカトロニクス学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.08	平成19年度		
システムデザイン工学部									
情報システム工学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.16	平成29年度	東京都足立区 千住旭町5番	
デザイン工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.12	平成29年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200	

大学の名称	東京電機大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
大学院工学研究科修士課程								
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.97	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.12	平成3年度	
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.92	平成13年度	
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.58	平成2年度	
大学院理工学研究科修士課程								
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.63	平成21年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.00	平成21年度	
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.84	平成21年度	
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.86	平成25年度	
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.79	平成25年度	
大学院情報環境学研究科修士課程								
情報環境学専攻	2	40	—	80	修士 (情報環境学)	0.64	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200
大学院未来科学研究科修士課程								
建築学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.68	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.92	平成21年度	
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.10	平成21年度	
大学院先端科学技術研究科博士課程(後期)								
数理学専攻	3	3	—	9	博士 (理学)	0.33	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.40	平成18年度	
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.88	平成18年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (理学)	0.55	平成18年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士 (工学) 博士 (理学)	0.33	平成18年度	
情報学専攻	3	3	—	9	博士 (情報学)	0.33	平成18年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年 4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年 2月)	・システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	未履行 ・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設置計画履行状況 調 査 時 (30年 2月)	・工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	未履行 ・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<工学部 先端機械工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ 教育改善推進委員会
 - ・ 教学委員会
 - ・ 工学部運営委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催（教員委員16名、事務職員委員2名が参加）
 - ・ 教学委員会は月1回開催（教員委員16名、事務職員委員2名が参加）
 - ・ 工学部運営委員会は月1回開催（教員委員13名が参加）
- c 委員会の審議事項等
 - ・ 教育改善推進委員会
教育活動の評価・改善（方策）、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項
 - ・ 教学委員会
学部教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項
 - ・ 工学部運営委員会
将来計画、入学試験、教務、学生の厚生補導及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・ シラバスの作成
 - ・ FD/SDセミナー
 - ・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）
 - ・ 新任教員オリエンテーション
- b 実施方法
 - ・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。
 - ・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。
 - ・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。
 - ・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ シラバスの作成については、全科目において行う。
 - ・ 平成29年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全12回開催し、延べ604人の参加があった。
 - ・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。
 - ・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の

向上に資する。

- ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方を策定する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

先端機械工学科は、人材養成の目的を達成するため、従来の機械技術分野に加えて、情報系、電気・電子系等の周辺分野の技術に関する基礎知識も有し、自動車や加工機械等の高精度、高性能な機械システムや、医療・福祉機器等の人にやさしい機械システムの設計・開発に必要とされる総合的な知識と洞察力を備えた人材を育成する。

すなわち、ワークショップ、実験、実習、CAD等の実技科目を通して経験に基づく機械技術の基礎を学ばせるとともに、医療・福祉、マイクロマシン等の先端技術分野も学ばせることで、広範な技術に柔軟に対応できる創造力を涵養することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、従来からの機械工学の専門分野に加え、機械工学における先端的な周辺分野において、現代的ニーズを意識した幅広い専門科目を用意し、講義、演習、実験、実習を体系的に配置している。また、成績優秀者や学習意欲の高い学生には、大学院の先取り科目を設置するとともに、各種の資格取得を目指す学生には、資格関連科目を配置している。機械工学及びその先端的な周辺分野の実験・実習・ワークショップ科目を開設し、専門知識と専門技能を活用して課題解決ができる能力を培う科目を配置しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年8月末頃 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成35年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有) ・ (無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年8月末頃 公表予定)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 大学の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスタ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
工学部長	(サトウ タイチ) 佐藤 太一 (平成28年4月)		
応用化学科長	(イシマル シンイチ) 石丸 臣一 (平成29年4月)	(スズキ タカユキ) 鈴木 隆之 (平成30年4月)	任期満了により学科長交代(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 応用化学科 学士(工学)	工学関係	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 80 (-) [-]	人 () []	人 80 (-) [-]	人 () []	1.10倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	1,344 (-) [6]	- (-) [-]	1,181 (-) [7]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	1,306 (-) [6]	- (-) [-]	1,142 (-) [6]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	402 (-) [5]	- (-) [-]	376 (-) [5]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	89 (-) [3]	- (-) [-]	88 (-) [4]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					1.11		1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	89 [3] (3)	— [—] (—)	91 [5]	— [—]	平成30年度1年次の留学生 [5名]のうち1名は留 年者
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	85 [2] (0)	— [—] (—)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	89 [3] (3)	—	176 [7] (0)	—	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	89人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	学生個人の心身に関する事情(1人)
平成30年度	176人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	人	1人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{89} = \boxed{1.12} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{176} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 応用科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	ジェネリックススキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1前・後	2							17	
		文章表現法	1-2-3-4後	2							3	
		論理的思考法	1-2-3-4前・後	2							2	
		情報と職業	1-2-3-4前・後	2							1	
		東京電機大学で学ぶ	1前	1							1	
		人間科学プロジェクト	2-3-4	2							1	
	人間理解		歴史理解の基礎	1-2-3-4前・後	2							1
			哲学と倫理の基礎	1-2-3-4前・後	2							3
			認知心理学	1-2-3-4前・後	2							1
			人間関係の心理	1-2-3-4前・後	2							1
			自己心理学セミナー	1-2-3-4前・後	2							4
			情報デザインと心理	1-2-3-4前・後	2							1
			芸術	1-2-3-4前・後	2							2
	社会理解		実用法律入門	1-2-3-4前・後	2							1
			日本国憲法	1-2-3-4前・後	2							1
			日本経済入門	1-2-3-4前・後	2							1
			介護福祉論	1-2-3-4前・後	2							1
			企業と社会	1-2-3-4前・後	2							1
			大学と社会	1-2-3-4後	2							1
			企業と経営	1-2-3-4前・後	2							1
	スポーツ・健康		健康と生活	1-2-3-4前・後	2							1
			身体運動のしくみ	1-2-3-4前・後	2							1
			トリムスポーツⅠ	1-2-3-4前	2							11
			トリムスポーツⅡ	1-2-3-4後	2							11
			体力科学演習	1-2-3-4前・後	2							1
			アウトドアスポーツA	1-2-3-4前	1							3
			アウトドアスポーツB	1-2-3-4前	1							3
		アウトドアスポーツC	1-2-3-4後	1							3	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	ジェネリックススキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1前・後	2							8	
		文章表現法	1-2-3-4後	2							2	
		論理的思考法	1-2-3-4前・後	2							2	
		情報と職業	1-2-3-4前・後	2							1	
		東京電機大学で学ぶ	1前	1							1	
		人間科学プロジェクト	2-3-4	2							1	
	人間理解		歴史理解の基礎	1-2-3-4前・後	2							1
			哲学と倫理の基礎	1-2-3-4前・後	2							2
			認知心理学	1-2-3-4前・後	2							1
			人間関係の心理	1-2-3-4前・後	2							1
			自己心理学セミナー	1-2-3-4前・後	2							4
			情報デザインと心理	1-2-3-4前・後	2							1
			芸術	1-2-3-4前・後	2							2
	社会理解		実用法律入門	1-2-3-4前・後	2							1
			日本国憲法	1-2-3-4前・後	2							1
			日本経済入門	1-2-3-4前・後	2							1
			介護福祉論	1-2-3-4前・後	2							1
			企業と社会	1-2-3-4前・後	2							1
			大学と社会	1-2-3-4後	2							1
			企業と経営	1-2-3-4前・後	2							1
	スポーツ・健康		健康と生活	1-2-3-4前・後	2							1
			身体運動のしくみ	1-2-3-4前・後	2							1
			トリムスポーツⅠ	1-2-3-4前	2							13
			トリムスポーツⅡ	1-2-3-4後	2							13
			体力科学演習	1-2-3-4前・後	2							1
			アウトドアスポーツA	1-2-3-4前	1							4
			アウトドアスポーツB	1-2-3-4前	1							4
		アウトドアスポーツC	1-2-3-4後	1							4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	基幹科目 数学	微分方程式 I	2前	2							1
		数値解析学	2後	2							1
		微分積分学および演習 II	1後	4							1
		線形代数学 II	1後	2							1
	物理学	地球環境科学	2前	2							1
		物性物理学	2後	2							1
		固体物性	3前	2							1
	教職科目	地学	2後	2							3
		総合物理学実験	2後		1						1
		生物学実験	2後		1	1					2
		地学実験	1前		2			1			4
		総合物理学	2前	2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	基幹科目 数学	微分方程式 I	2前	2							1
		数値解析学	2後	2							1
		微分積分学および演習 II	1後	4							6
		線形代数学 II	1後	2							5
	物理学	地球環境科学	2前	2							1
		物性物理学	2後	2							1
		固体物性	3前	2							1
	教職科目	地学	2後	2							3
		総合物理学実験	2後		1						1
		生物学実験	2後		1	1					0
		地学実験	1前		2				1		4
		総合物理学	2前	2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基幹科目	数学	微分方程式Ⅰ	2前	2							1
			数値解析学	2後	2							1
			微分積分学および演習Ⅱ	1後	4							6
			線形代数学Ⅱ	1後	2							5
	物理学	地球環境科学	2前	2							1	
		物性物理学	2後	2							1	
		固体物性	3前	2							1	
	教職科目	地学	2後	2							3	
		総合物理学実験	2後		1						1	
		生物学実験	2後		1	1					2	
		地学実験	1前		2			1			4	
		総合物理学	2前	2							1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「文章表現法」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅠ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅡ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツA」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツB」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツC」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「ワークショップ」の配置を「教授5」から「教授6」に変更および「准教授3」から「准教授2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学B」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「教授1」から「教授3」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更および「助教1」から「助教0」に変更および「兼任・兼任4」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論B」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論C」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論E」の配置を「教授4」から「教授5」に変更および「准教授3」から「准教授2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「日本事情B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・専任教員新任を理由および担当者変更の理由により、「化学演習Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・専任教員新任および担当者変更の理由により、「化学演習Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更および「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・専任教員退職および新任、担当者変更により、「応用化学実験」の配置を「教授0」から「教授1」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「卒業研究」の配置を「教授5」から「教授6」に変更および「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「応用化学総合演習Ⅱ」の配置を「教授5」から「教授6」に変更および「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「化学論文読解」の配置を「教授5」から「教授6」に変更および「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「有機化学Ⅱ」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「有機化学Ⅲ」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「有機化学実験」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「応用有機化学実験」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「高分子合成学」の配置を「教授0」から「教授1」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」へ変更。

【平成30年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・教育の充実のため、「ドイツ語・ドイツ文化」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「ワークショップ」の配置を「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・教育の充実のため、「微分積分学および演習Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「准教授2」から「准教授3」および「兼任・兼任13」から「兼任・兼任15」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論E」の配置を「教授5」から「教授4」および「准教授2」から「准教授3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「自然科学概論G」（配当年次：1・2前・後、単位数：選択2単位）を新設し、「兼任・兼任7」を配置する。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅲ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅳ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「英語演習H」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者の変更により、「応用化学実験」の配置を「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「応用有機化学実験」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「無機・分析化学実験」の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更および「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「生物学実験」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「環境物質学」の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「卒業研究」の配置を「准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「応用化学総合演習Ⅰ」の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「応用化学総合演習Ⅱ」の配置を「准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「化学論文読解」の配置を「准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「応用無機・分析化学実験」の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育の充実のため、「物理科学実験」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・専任教員新任の理由により、「有機化学演習A」の配置を「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「有機化学演習B」の配置を「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「有機化学実験」の配置を「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	123 科目	3 科目	157 科目	31 科目 [0]	124 科目 [1]	3 科目 [0]	158 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東京電機大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
電気電子工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.11	平成19年度	東京都足立区千住旭町5番 千葉県印西市武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
電子システム工学科	4	90	—	360	学士(工学)	1.10	平成29年度		
環境化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成19年度		
応用化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.10	平成29年度		
機械工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.11	平成19年度		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.14	平成29年度		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.14	平成19年度		
工学部第二部									
電気電子工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.17	平成20年度	東京都足立区千住旭町5番	
機械工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	昭和37年度		
情報通信工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.19	昭和36年度		
理工学部									
理工学科	4	600	—	2,400	学士(理学) 学士(工学) 学士(情報学)	1.11	平成19年度	埼玉県比企郡鳩山町石坂	
情報環境学部									
情報環境学科	4	—	—	—	学士(情報環境学)	—	平成18年度	東京都足立区千住旭町5番 千葉県印西市武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
未来科学部									
建築学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.13	平成19年度	東京都足立区千住旭町5番	
情報メディア学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.09	平成19年度	千葉県印西市武西学園台2-1200	
ロボット・メカトロニクス学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.08	平成19年度		
システムデザイン工学部									
情報システム工学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.16	平成29年度	東京都足立区千住旭町5番	
デザイン工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.12	平成29年度	千葉県印西市武西学園台2-1200	

大学の名称	東京電機大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
大学院工学研究科修士課程								
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.97	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.12	平成3年度	
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.92	平成13年度	
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.58	平成2年度	
大学院理工学研究科修士課程								
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.63	平成21年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.00	平成21年度	
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.84	平成21年度	
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.86	平成25年度	
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.79	平成25年度	
大学院情報環境学研究科修士課程								
情報環境学専攻	2	40	—	80	修士 (情報環境学)	0.64	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200
大学院未来科学研究科修士課程								
建築学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.68	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.92	平成21年度	
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.10	平成21年度	
大学院先端科学技術研究科博士課程(後期)								
数理学専攻	3	3	—	9	博士 (理学)	0.33	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.40	平成18年度	
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.88	平成18年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (理学)	0.55	平成18年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士 (工学) 博士 (理学)	0.33	平成18年度	
情報学専攻	3	3	—	9	博士 (情報学)	0.33	平成18年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年 4 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年 2 月)	・ システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	未履行 ・ 退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設置計画履行状況 調 査 時 (30年 2 月)	・ 工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	未履行 ・ 退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<工学部 応用化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会・ 教学委員会・ 工学部運営委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催（教員委員16名、事務職員委員2名が参加）・ 教学委員会は月1回開催（教員委員16名、事務職員委員2名が参加）・ 工学部運営委員会は月1回開催（教員委員13名が参加） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会 教育活動の評価・改善（方策）、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項・ 教学委員会 学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項・ 工学部運営委員会 将来計画、入学試験、教務、学生の厚生補導及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスの作成・ FD/SDセミナー・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）・ 新任教員オリエンテーション <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスの作成については、全科目において行う。・ 平成28年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全10回開催し、延べ714人の参加があった。・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。
- ・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の向上に資する。
- ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方を策定する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

応用化学科は、工学における応用化学分野に関する基礎から応用までの知識と技術を有し、安全で快適な持続可能な社会の構築に貢献することのできる思考力と創造力豊かで応用力を有する人材を育成する。

すなわち、現代社会の基幹を構成し将来に亘って必要とされる応用化学分野において、教育研究を通じて学ばせることにより、様々な状況に順応できる優秀な技術者を育成することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、「有機化学」「無機・分析化学」「物理化学」「化学工学」の4分野を柱に、現代的ニーズを意識した幅広い専門科目を用意し、講義、演習、実験、実習を体系的に配置している。また、成績優秀者や学習意欲の高い学生には、大学院の先取り科目を設置するとともに、各種の資格取得を目指す学生には、資格関連科目を配置している。専門知識と専門技能を活用して課題解決ができる能力を培うために、多数の実験・実習・ワークショップ科目を開設しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年8月末頃 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成35年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年8月末頃 公表予定)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 大学の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスダ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
工学部長	(サトウ タイチ) 佐藤 太一 (平成28年4月)		
電子システム工学科長	(タドコロ タカシ) 田所 貴志 (平成29年4月)	(ニシカワ タダシ) 西川 正 (平成30年4月)	任期満了により学科長交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 電子システム工学科 学士(工学)	工学関係	4年	90人	— 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	90 (-) [-]	(-) [-]	90 (-) [-]	(-) [-]	1.10倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	923 (-) [5]	(-) [-]	976 (-) [3]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	890 (-) [5]	(-) [-]	937 (-) [2]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	289 (-) [3]	(-) [-]	250 (-) [0]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	98 (-) [2]	(-) [-]	101 (-) [0]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A					1.08	1.12				

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	98 [2] (5)	— [—] (—)	106 [1]	— [—]	平成30年度1年次の留学生 生 [1 名] は、留年者 平成30年度2年次のうち 転学部 3 人
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	95 [1] (0)	— [—] (—)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	98 [2] (5)	—	201 [2] (0)	—	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	98人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	201人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	—人	1人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{98} = \boxed{1.02} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{201} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 電子システム工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	ジェネリックスキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1前・後	2							17	
		文章表現法	1-2-3-4後	2							3	
		論理的思考法	1-2-3-4前・後	2							2	
		情報と職業	1-2-3-4前・後	2							1	
		東京電機大学で学ぶ	1前	1							1	
		人間科学プロジェクト	2-3-4	2							1	
	人間理解		歴史理解の基礎	1-2-3-4前・後	2							1
			哲学と倫理の基礎	1-2-3-4前・後	2							3
			認知心理学	1-2-3-4前・後	2							1
			人間関係の心理	1-2-3-4前・後	2							1
			自己心理学セミナー	1-2-3-4前・後	2							4
			情報デザインと心理	1-2-3-4前・後	2							1
			芸術	1-2-3-4前・後	2							2
	社会理解		実用法律入門	1-2-3-4前・後	2							1
			日本国憲法	1-2-3-4前・後	2							1
			日本経済入門	1-2-3-4前・後	2							1
			介護福祉論	1-2-3-4前・後	2							1
			企業と社会	1-2-3-4前・後	2							1
			大学と社会	1-2-3-4後	2							1
			企業と経営	1-2-3-4前・後	2							1
	スポーツ・健康		健康と生活	1-2-3-4前・後	2							1
			身体運動のしくみ	1-2-3-4前・後	2							1
			トリムスポーツⅠ	1-2-3-4前	2							11
			トリムスポーツⅡ	1-2-3-4後	2							11
			体力科学演習	1-2-3-4前・後	2							1
			アウトドアスポーツA	1-2-3-4前	1							3
			アウトドアスポーツB	1-2-3-4前	1							3
		アウトドアスポーツC	1-2-3-4後	1							3	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	ジェネリックスキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1前・後	2							8	
		文章表現法	1-2-3-4後	2							2	
		論理的思考法	1-2-3-4前・後	2							2	
		情報と職業	1-2-3-4前・後	2							1	
		東京電機大学で学ぶ	1前	1							1	
		人間科学プロジェクト	2-3-4	2							1	
	人間理解		歴史理解の基礎	1-2-3-4前・後	2							1
			哲学と倫理の基礎	1-2-3-4前・後	2							2
			認知心理学	1-2-3-4前・後	2							1
			人間関係の心理	1-2-3-4前・後	2							1
			自己心理学セミナー	1-2-3-4前・後	2							4
			情報デザインと心理	1-2-3-4前・後	2							1
			芸術	1-2-3-4前・後	2							2
	社会理解		実用法律入門	1-2-3-4前・後	2							1
			日本国憲法	1-2-3-4前・後	2							1
			日本経済入門	1-2-3-4前・後	2							1
			介護福祉論	1-2-3-4前・後	2							1
			企業と社会	1-2-3-4前・後	2							1
			大学と社会	1-2-3-4後	2							1
			企業と経営	1-2-3-4前・後	2							1
	スポーツ・健康		健康と生活	1-2-3-4前・後	2							1
			身体運動のしくみ	1-2-3-4前・後	2							1
			トリムスポーツⅠ	1-2-3-4前	2							13
			トリムスポーツⅡ	1-2-3-4後	2							13
			体力科学演習	1-2-3-4前・後	2							1
			アウトドアスポーツA	1-2-3-4前	1							4
			アウトドアスポーツB	1-2-3-4前	1							4
		アウトドアスポーツC	1-2-3-4後	1							4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・人間科学科目	技術者教養	技術者倫理	1-2-3-4前・後	2							2
		失敗学	1-2-3-4前・後	2							1
		情報化社会と知的財産権	1-2-3-4前・後	2							1
		製造物責任法	1-2-3-4前・後	2							1
		情報倫理	1-2-3-4前・後	2							1
		情報とネットワークの経済社会	1-2-3-4前・後	2							1
		情報化社会とコミュニケーション	1-2-3-4前・後	2							1
		科学と技術の社会史	1-2-3-4前・後	2							1
	グローバル教養	グローバル社会の市民論	1-2-3-4前・後	2							1
		比較文化論	1-2-3-4前・後	2							1
		地球環境論	1-2-3-4前・後	2							1
		国際政治の基礎	1-2-3-4前・後	2							1
		ヨーロッパ理解	1-2-3-4前・後	2							2
		アメリカ理解	1-2-3-4前・後	2							1
ワークショップ	ワークショップ	1前	2			1	1		2		
	数学	微分積分学および演習I	1前	4							21
		線形代数I	1前	2							22
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							6
基礎物理学B		1前・後	2							1	
化学・生物	物理実験	1前・後	1							8	
	基礎化学	1前・後	2							1	
自然科学	化学・生物実験	1前・後	1							14	
	その他	自然科学概論A	1-2前・後	2							6
		自然科学概論B	1-2前・後	2							6
		自然科学概論C	1-2前・後	2							1
		自然科学概論D	1-2前・後	2							2
		自然科学概論E	1-2前・後	2							7
自然科学概論F		1-2前・後	2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・人間科学科目	技術者教養	技術者倫理	1-2-3-4前・後	2							2
		失敗学	1-2-3-4前・後	2							1
		情報化社会と知的財産権	1-2-3-4前・後	2							1
		製造物責任法	1-2-3-4前・後	2							1
		情報倫理	1-2-3-4前・後	2							1
		情報とネットワークの経済社会	1-2-3-4前・後	2							1
		情報化社会とコミュニケーション	1-2-3-4前・後	2							1
		科学と技術の社会史	1-2-3-4前・後	2							1
	グローバル教養	グローバル社会の市民論	1-2-3-4前・後	2							1
		比較文化論	1-2-3-4前・後	2							1
		地球環境論	1-2-3-4前・後	2							1
		国際政治の基礎	1-2-3-4前・後	2							1
		ヨーロッパ理解	1-2-3-4前・後	2							2
		アメリカ理解	1-2-3-4前・後	2							1
ワークショップ	ワークショップ	1前	2				0	1		1	
	数学	微分積分学および演習I	1前・後	4							19
		線形代数I	1前・後	2							17
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							6
基礎物理学B		1前・後	2							2	
化学・生物	物理実験	1前・後	1							11	
	基礎化学	1前・後	2							16	
自然科学	化学・生物実験	1前・後	1							24	
	その他	自然科学概論A	1-2前・後	2							3
		自然科学概論B	1-2前・後	2							4
		自然科学概論C	1-2前・後	2							2
		自然科学概論D	1-2前・後	2							4
		自然科学概論E	1-2前・後	2							7
		自然科学概論F	1-2前・後	2							14
自然科学概論G		1-2前・後	2							7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎光学	2前	2			1						
	マイクロプロセッサ応用	3後	2									1
	コンピュータアーキテクチャ	3前	2									1
	信号処理	3前	2									1
	応用信号処理	3後	2									1
	電気電子機器	3後	2									1
	ロボット工学	3後	2			1						
	光エレクトロニクス	3後	2			1						
	情報理論	2前	2									1
	高周波回路	3・4前	2									1
	通信機器	3・4後	2									1
	音響工学	3・4後	2									1
	電磁波工学	3・4後	2									1
	センサーエレクトロニクス	3・4前	2			1						
	光通信工学	4前	2			1						
	光情報処理	4後	2			1						
	非線形光学	3・4後	2			1						
	電子システム工学基礎実験Ⅰ	2前	2				1		1			2
	電子システム工学基礎実験Ⅱ	2後	2				1		1			2
	電子システム工学実験Ⅰ	3前	2				1	1	1			4
電子システム工学実験Ⅱ	3後	2				1	1	1			4	
電気電子キャリア演習	3後	1			2						1	
プレゼンテーションⅠ	4前	2			1	1					1	
プレゼンテーションⅡ	4後	2			1	1					1	
技術英語	3前	2									2	
ビジネス英語	3後	2									2	
卒業研究	4通	6			6	2		2			2	
通信法規	3・4後		2								1	
品質管理	3・4後		2								1	
教職関連科目	木材加工	2前		1								1
	栽培	2前		1								1
	職業指導	3前		2								1
	工業技術概論	3後		2								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎光学	2前	2			1						
	マイクロプロセッサ応用	3後	2						1			0
	コンピュータアーキテクチャ	3前	2									1
	信号処理	3前	2									1
	応用信号処理	3後	2									1
	電気電子機器	3後	2									1
	ロボット工学	3後	2						1			
	光エレクトロニクス	3後	2						1			
	情報理論	2前	2									1
	高周波回路	3・4前	2									1
	通信機器	3・4後	2									1
	音響工学	3・4後	2									1
	電磁波工学	3・4後	2									1
	センサーエレクトロニクス	3・4前	2						1			
	光通信工学	4前	2						1			
	光情報処理	4後	2						1			
	非線形光学	3・4後	2						1			
	電子システム工学基礎実験Ⅰ	2前	2						1		1	2
	電子システム工学基礎実験Ⅱ	2後	2						1	1	0	2
	電子システム工学実験Ⅰ	3前	2						1	1	0	4
電子システム工学実験Ⅱ	3後	2						1	1		4	
電気電子キャリア演習	3後	1							3		4	
プレゼンテーションⅠ	4前	2						1	1		1	
プレゼンテーションⅡ	4後	2						1	1		1	
技術英語	3前	2									1	
ビジネス英語	3後	2									1	
卒業研究	4通	6						5	3	1	2	
通信法規	3・4後		2								1	
品質管理	3・4後		2								1	
教職関連科目	木材加工 (未開講)	2前		1								1
	栽培 (未開講)	2前		1								1
	職業指導	3前		2								1
	工業技術概論	3後		2								2
	機械のしくみ	2前		1					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育科目	信号処理	3前		2							1
	応用信号処理	3後		2							1
	電気電子機器	3後		2							1
	ロボット工学	3後		2			1				
	光エレクトロニクス	3後		2		1					
	情報理論	2前		2							1
	高周波回路	3・4前		2							1
	通信機器	3・4後		2							1
	音響工学	3・4後		2							1
	電磁波工学	3・4後		2							1
	センサーエレクトロニクス	3・4前		2		1					
	光通信工学	4前		2		1					
	光情報処理	4後		2		1					
	非線形光学	3・4後		2		1					
	電子システム工学基礎実験Ⅰ	2前	2				1		1		2
	電子システム工学基礎実験Ⅱ	2後	2				1		1		2
	電子システム工学実験Ⅰ	3前	2				1	1	1		4
	電子システム工学実験Ⅱ	3後	2				1		1		4
	電気電子キャリア演習	3後		1		2					1
	プレゼンテーションⅠ	4前	2			1	1				1
	プレゼンテーションⅡ	4後	2			1	1				1
	技術英語	3前		2							2
	ビジネス英語	3後		2							2
卒業研究	4通	6			6	2		2		2	
通信法規	3・4後			2						1	
品質管理	3・4後			2						1	
教職関連科目	木材加工	2前			1						1
	栽培	2前			1						1
	職業指導	3前			2						1
	工業技術概論	3後			2						2

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「文章表現法」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅠ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅡ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツA」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツB」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツC」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学B」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任23」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論B」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論C」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任9」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「日本事情B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「プログラミング基礎」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。

【平成30年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・教育の充実のため、「ドイツ語・ドイツ文化」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・教育の充実のため、「微分積分学および演習Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任23」から「兼任・兼任16」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任24」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「自然科学概論G」(配当年次:1・2前・後、単位数:選択2単位)を新設し、「兼任・兼任7」を配置する。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅲ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅳ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「英語演習H」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者都合の理由により、「ワークショップ」の配置を「助教2」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員退職の理由により、「ワークショップ」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「助教1」から「助教0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員退職および専任教員昇任の理由により、「アドバンスワークショップ」の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授2」から「准教授3」、「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員退職および専任教員昇任の理由により、「電子システム工学入門」の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授2」から「准教授3」、「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員退職および専任教員昇任の理由により、「卒業研究」の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授2」から「准教授3」、「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員退職の理由により、「電気回路Ⅱ」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「回路解析」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「マイクロプロセッサ応用」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「技術英語」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「ビジネス英語」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「電子システム工学実験Ⅰ」の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「電子・光材料」の配置を「助教1」から「助教0」および「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「電子システム工学基礎実験Ⅱ」の配置を「助教1」から「助教0」および「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育充実の理由により、「電気電子キャリア演習」の配置を「教授2」から「教授3」に変更および「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教職課程認定のため文部科学省の指導により、「機械のしくみ」(配当年次:2前、単位数:自由1単位)の科目を追加。当該科目の配置は「准教授1」とする。

(注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	128 科目	6 科目	157 科目	23 科目 [0]	129 科目 [1]	7 科目 [1]	159 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	木材加工	1	2	専門	選択	履修者数が少ないことが見込まれるため。次年度以降開講予定、代替措置不要。
2	栽培	1	2	専門	選択	履修者数が少ないことが見込まれるため。次年度以降開講予定、代替措置不要。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「木材加工」および「栽培」については、教職関連科目の自由科目であり、平成30年度の履修者数はごく少数となることが見込まれたことから、開講せずの扱いとした。当該科目は次年度以降開講するため学生への影響はない。
学生への周知はポータルサイトで掲示を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{157} = \boxed{1.27}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東京電機大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
電気電子工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.11	平成19年度	東京都足立区千住旭町5番 千葉県印西市武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
電子システム工学科	4	90	—	360	学士(工学)	1.10	平成29年度		
環境化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成19年度		
応用化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.10	平成29年度		
機械工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.11	平成19年度		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.14	平成29年度		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.14	平成19年度		
工学部第二部									
電気電子工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.17	平成20年度	東京都足立区千住旭町5番	
機械工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	昭和37年度		
情報通信工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.19	昭和36年度		
理工学部									
理工学科	4	600	—	2,400	学士(理学) 学士(工学) 学士(情報学)	1.11	平成19年度	埼玉県比企郡鳩山町石坂	
情報環境学部									
情報環境学科	4	—	—	—	学士(情報環境学)	—	平成18年度	東京都足立区千住旭町5番 千葉県印西市武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
未来科学部									
建築学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.13	平成19年度	東京都足立区千住旭町5番	
情報メディア学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.09	平成19年度	千葉県印西市武西学園台2-1200	
ロボット・メカトロニクス学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.08	平成19年度		
システムデザイン工学部									
情報システム工学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.16	平成29年度	東京都足立区千住旭町5番	
デザイン工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.12	平成29年度	千葉県印西市武西学園台2-1200	

大学の名称	東京電機大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
大学院工学研究科修士課程								
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.97	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.12	平成3年度	
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.92	平成13年度	
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.58	平成2年度	
大学院理工学研究科修士課程								
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.63	平成21年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.00	平成21年度	
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.84	平成21年度	
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.86	平成25年度	
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.79	平成25年度	
大学院情報環境学研究科修士課程								
情報環境学専攻	2	40	—	80	修士 (情報環境学)	0.64	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200
大学院未来科学研究科修士課程								
建築学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.68	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.92	平成21年度	
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.10	平成21年度	
大学院先端科学技術研究科博士課程(後期)								
数理学専攻	3	3	—	9	博士 (理学)	0.33	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.40	平成18年度	
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.88	平成18年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (理学)	0.55	平成18年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士 (工学) 博士 (理学)	0.33	平成18年度	
情報学専攻	3	3	—	9	博士 (情報学)	0.33	平成18年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年 4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年 2月)	・システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設置計画履行状況 調 査 時 (30年 2月)	・工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<工学部 電子システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 教育改善推進委員会
- ・ 教学委員会
- ・ 工学部運営委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催（教員委員16名、事務職員委員2名が参加）
- ・ 教学委員会は月1回開催（教員委員16名、事務職員委員2名が参加）
- ・ 工学部運営委員会は月1回開催（教員委員13名が参加）

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育改善推進委員会
教育活動の評価・改善（方策）、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項
- ・ 教学委員会
学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項
- ・ 工学部運営委員会
将来計画、入学試験、教務、学生の厚生補導及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ シラバスの作成
- ・ FD/SDセミナー
- ・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）
- ・ 新任教員オリエンテーション

b 実施方法

- ・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。
- ・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。
- ・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。
- ・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ シラバスの作成については、全科目において行う。
- ・ 平成29年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全12回開催し、延べ604人の参加があった。
- ・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。
- ・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の

向上に資する。

- ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方を策定する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

電子システム工学科は、電気電子工学を基礎として、光工学、情報工学を含む総合的な知識と技術を有し、安全で快適な社会の発展に貢献することのできる思考力と創造力豊かで応用力を有する人材を養成する。

すなわち、電気電子工学とその関連分野を基礎から応用まで系統的に学ばせるとともに、低学年次から配当される多彩な実験科目・実習科目を通じて、実社会で活躍できる課題解決力、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション力を涵養することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、電気電子分野の現代的ニーズを意識した幅広い専門科目を用意し、講義、演習、実験、実習を体系的に配置している。また、成績優秀者や学習意欲の高い学生には、大学院の先取り科目を設置するとともに、各種の資格取得を目指す学生には、資格関連科目を配置している。専門知識と専門技能を活用して課題解決ができる能力を培うために、多数の実験・実習・ワークショップ科目を配置しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年8月末頃 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成35年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有) ・ (無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年8月末頃 公表予定)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。